

各学科における卒業認定・専門士授与に関する方針

(ディプロマ・ポリシー)

令和元年 3 月 19 日 制定

令和 8 年 3 月 25 日 改訂

長野美術専門学校では、ディプロマ・ポリシーに定める人間育成の目的達成のため、すべての学科ごとに方針を設けています。

ビジュアルデザイン科 3 年制 ディプロマ・ポリシー：

視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得
——デザイン全般に関わる基礎力を確実なものにし、自身で切り拓く力をつける

[この学科でつける力]

ビジュアルデザイン科 3 年制では、視覚的なデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得——デザイン全般に関わる基礎力を確実なものにし、自身で切り拓く力をつける」を学科の方針とし、クリエイティブ業界をはじめとしたデザイン力が求められる広い領域で活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. デザインをはじめとしたクリエイティブに関わる専門的で幅広い、確かな基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3 を総合し、課題に対して自律的に取り組む実行力
5. 新たな価値を広く社会に創出する能力
6. PBL のグループワークや、長期インターンシップ等を通じた、協働的な実践力

ビジュアルデザイン科 2 年制 ディプロマ・ポリシー：

視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得

——デザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける

[この学科でつける力]

ビジュアルデザイン科2年制では、視覚的なデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得——デザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける」を学科の方針とし、デザインなどクリエイティブ業界を中心に活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. デザインに関わる専門的な基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む実行力
5. 新たな価値を広く社会に創出する能力
6. PBLのグループワーク等を通じた、協働的な実践力

ビジュアルアート科3年制 ディプロマ・ポリシー：

幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得

——展示企画の実行や市場への流通をとおり、作品を社会へ接続する力をつける

[この学科でつける力]

ビジュアルアート科3年制では、アートワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得——展示企画の実行や市場への流通をとおり、作品を社会へ接続する力をつける」を学科の方針とし、社会との関係性の中で自身のアーティストや作家としてのアイデンティティを獲得するための能力として、次の力を身につけます

1. デザイン技能に基づくPC等の基礎技能
2. 制作実技などにおいて、自ら問題意識を通じ、社会の根本的問題に触れ、作品やその展示企画として結実させる力

3. 1、2を総合し、課題に対して自律的に取り組める実行力
4. 新しい価値を社会に創出する力
5. グループワーク等を通した、同じ目的に対し共に取り組む力
6. 市場のトレンドを分析し、自分の作品を社会に流通させる力

ビジュアルアート科2年制 ディプロマ・ポリシー：

幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得
——制作や作品をとおり表現の可能性を広げ、社会へつなげる

[この学科でつける力]

ビジュアルアート科2年制では、アートワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得——制作や作品をとおり表現の可能性を広げ、社会へつなげる」を学科の方針とし、主体的な制作活動を続けられる能力として、次の力を身につけます。

1. デザイン技能に基づく PC 等の基礎技能
2. 制作実技などにおいて、自ら問題意識を通じ、社会の根本的問題に触れ、作品として結実させる力
3. 1、2を総合し、課題に対して自律的に取り組める実行力
4. 新しい価値を社会に創出する力
5. グループワーク等を通した、同じ目的に対し共に取り組む力

com.デザイン総合学科 ディプロマ・ポリシー：

クリエイティブの本来性を探求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得
——これからの社会を幅広いデザインワークでリードする力をつける

[この学科でつける力]

com.デザイン総合学科では、幅広いデザインワークを学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として、本来的で多様なデザイン力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「クリエイティブの本来性を追求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得——これからの社会を幅広いデザインワークでリードする

力をつける」を学科の方針とし、クリエイティブ業界のみならず、デザイン力が求められる広い領域で活躍する能力として、次の力を身につけます。

1. 本来的にデザイン分野が有する社会基盤（造形・商業・工学）的な思考法と、その基礎技能
2. 制作実技等を通じて養う、分析力や思考力、判断力や表現力
3. 制作課題等を通じ自らの問題意識をもとに多様な情報を収集し、活用できる課題解決力
4. 1、2、3を総合し、課題に対して自律的に取り組む計画力と実行力
5. 新しい価値を社会に創出する力
6. 5に加え、自発的なプランを、他者を巻き込みながら社会へ実装させようとする力
7. PBL のグループワークや長期インターンシップ等を通じた、協働的な実践力

オーバル・アーツ学科 ディプロマ・ポリシー：

自己の問いを起点に、創造できる力を獲得

——専門性を横断して自分の考えで、あたらしさを構築する力をつける

[この学科でつける力]

オーバル・アーツ学科では、領域にとらわれない横断的な創作活動を通じて、自己の問いを深めながら表現・思考を往還する力を学びます。卒業までに、新しい時代を切り拓く人間として必要な基礎力を身につけていきます。

そして、本校のディプロマ・ポリシーに従い「自己の問いを起点に、創造できる力の獲得——専門性を横断し、自らの思考によって新たな価値を構築する力をつける」を学科の方針とし、分野横断的に創造活動を展開できる能力として、次の力を身につけます。

1. 多様な表現領域にまたがる基礎的な知識および技能
2. 自己の問題意識を起点に問いを設定し、探究を深める思考力
3. 多様な情報を収集・分析し、横断的に活用する構想力および課題解決力
4. 1、2、3を統合し、自律的に制作・実践へと展開する実行力
5. 既存の枠組みにとらわれず、新たな価値を社会に提案・創出する力
6. 他者との協働や対話を通じて、創造を発展させる実践力